

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	17～24、28～36,39,42、43,44、51～61	<ul style="list-style-type: none"> ・出産準備、育児支援のための各種教室 ・出産前小児保健指導事業 ・NICU退院児の発育発達フォロー、超低出生体重児のための早期介入プログラム 他 目的・内容＝出産準備、育児支援、発達支援 対象者及び対象者数＝妊産婦、乳幼児とその家族 開催数（配布数）＝（省略） 効果＝・育児支援 ・産前産後の健康管理	17～24、28～36,39,42、43,44、51～61	<ul style="list-style-type: none"> ・出産準備、育児支援のための各種教室 ・出産前小児保健指導事業 ・NICU退院児の発育発達フォロー、超低出生体重児のための早期介入プログラム 他 目的・内容＝出産準備、育児支援、発達支援、産前産後の健康管理等 対象者及び対象者数＝妊産婦、乳幼児とその家族
	17～24、28～36,39,42、43,44、51～61	「日本型」オープンシステム、セミオープンシステム 他 目的・内容＝産婦人科の地域医療機関との連携	17～24、28～36,39,42、43,44、51～61	「日本型」オープンシステム、セミオープンシステム 他 目的・内容＝産婦人科の地域医療機関との連携による周産期医療体制の強化
		情報提供 目的・内容＝ウェブサイト「愛育ねっと」、「母子保健情報」の発行（年2回）、「日本子ども資料年鑑2009」の編集 対象者及び対象者数＝子ども家庭福祉関係の機関、研究者等、母子保健関係の機関、研究者等		情報提供 目的・内容＝ウェブサイト「愛育ねっと」、「母子保健情報」の発行（年2回）、「日本子ども資料年鑑2010」の編集 対象者及び対象者数＝子ども家庭福祉関係の機関、研究者等、母子保健関係の機関、研究者等
日本子ども健康科学会（子ども心・体と環境を考える会）	31,35,39	研究会誌「子どもの健康科学」第9巻2号発行 目的・内容＝第6回テーマ別研究会（「わが国におけるタバコの広告、販売促進及び後援（スポンサーシップ）の実状－青少年の喫煙開始防止対策を阻害するもの－」、「禁煙環境の実現に向けての活動」、「包括的アプローチ（薬物療法・認知療法・行動療法を含む）による禁煙のコミュニティ支援」）について、演者が論文化した研究会誌を作成 対象者及び対象者数＝本会会員（医療・教育・福祉・その他の多分野に及ぶ）に配布。一部の図書館に謹呈 開催数（配布数）＝350部を発行、配布 効果＝テーマ別研究会で報告された現場での実践や見地を、学会誌の形で広く伝達することができた。		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
社団法人全国保健センター連合会	18,19,33,34,35,39,52,54～57,60,61,66	乳幼児の父親向けリーフレット「子育てコラボシリーズ」の制作配布 1父親になるあなたへ2ふたりで一緒に子育て3赤ちゃんから子どもへ 目的・内容＝保健センターでの育児支援として、父親のためのパンフレットを制作配布して、育児における父親役割について知識の普及を図る。 対象者及び対象者数＝乳幼児を持つ父親 配布先：市町村保健センター 開催数(配布数)＝20,000部 効果＝母子健康手帳交付時や両親学級、新生児訪問、育児相談等で利用され、広く一般に、父親役割の知識普及がされた。	18,19,33,34,35,39,52,54～57,60,61,66	乳幼児の父親向けリーフレット「子育てコラボシリーズ」の制作配布 1父親になるあなたへ2ふたりで一緒に子育て3赤ちゃんから子どもへ 目的・内容＝保健センターでの育児支援として、父親のためのパンフレットを制作配布して、育児における父親役割について知識の普及を図る。 対象者及び対象者数＝乳幼児を持つ父親 配布先：市町村保健センター 開催(配布)予定数＝40,000部
	37,52,53,55～58	やさしいベビーケア 制作配布 目的・内容＝あかちゃんのこころとからだの成長を解説したリーフレット 対象者及び対象者数＝乳幼児を持つ家庭 配布先：市町村保健センター 開催数(配布数)＝19,000部 効果＝両親学級、新生児訪問、育児相談等で利用され、広く一般に知識普及がされた。	37,52,53,55～58	やさしいベビーケア 制作配布 目的・内容＝あかちゃんのこころとからだの成長を解説したリーフレット 対象者及び対象者数＝乳幼児を持つ家庭 配布先：市町村保健センター 開催(配布)予定数＝20,000部
難病のこども支援全国ネットワーク	49	ネットワーク電話相談室 目的・内容＝病気や障害のある子どもと家族から、医療・教育・福祉に関する相談を受ける。 対象者及び対象者数＝自由、相談件数は530件 開催数(配布数)＝毎週月曜～金曜11:00～15:00 TEL03-5840-5973	49	ネットワーク電話相談室 目的・内容＝病気や障害のある子どもと家族から、医療・教育・福祉に関する相談を受ける。 対象者及び対象者数＝自由 開催(配布)予定数＝毎週月曜～金曜11:00～15:00 TEL03-5840-5973
	48,49	ピア・サポート活動 目的・内容＝病気や障害のある子どもを育てた経験のある人が、支援を必要とする人へのサポート活動。 対象者及び対象者数＝病気や障害のある子どもと家族、相談件数は367件 開催数(配布数)＝国立成育医療センターでは火・木・金10:00～16:00。神奈川県立こども医療センターでは火・水・木・金10:00～15:00	48,49	ピアサポート活動 目的・内容＝病気や障害のある子どもを育てた経験のある人が、支援を必要とする人へのサポート活動。 対象者及び対象者数＝病気や障害のある子どもと家族 開催(配布)予定数＝国立成育医療センターでは火・木・金10:00～16:00。神奈川県立こども医療センターでは火・水・木・金10:00～15:00

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	49	サマーキャンプ“がんばれ共和国” 目的・内容＝病気や障害のある子と家族のQOLのために 対象者及び対象者数＝病気や障害のある子と家族、参加者は約800名 開催数(配布数)＝◎おきな輪キャンプ(沖縄県名護市6/28～29) ◎あしがらキャンプ(神奈川県大井町8/1～3) ◎七タキャンプ(宮城県蔵王町8/8～10) ◎おいでんほうらい(愛知県鳳来町8/22～24)◎がんばれ共和国in九州(熊本県阿蘇町8/22～29)	49	サマーキャンプ“がんばれ共和国” 目的・内容＝病気や障害のある子と家族のQOLのために 対象者及び対象者数＝病気や障害のある子と家族およそ900名 開催(配布)予定数＝◎おきな輪キャンプ(沖縄県名護市8/1～2) ◎あしがらキャンプ(神奈川県大井町7/31～8/2) ◎七タキャンプ(宮城県蔵王町8/7～9) ◎おいでんほうらい(愛知県新城市8/21～23)◎がんばれ共和国in九州(熊本県阿蘇町8/21～24) ◎富士山キャンプ(静岡県富士市8/28～30)
	49	親の会活動を支援する 目的・内容＝病気や障害のある子と家族のQOLのために、親の会連絡会、研究・研修活動、VTR製作その他。 対象者及び対象者数＝病気や障害のある子と家族、52団体。 開催数(配布数)＝親の会連絡会＝4月、7月、10月、1月開催。 研修会＝2月第1週に開催 学会等でのPR活動は計4回。	49	親の会活動を支援する 目的・内容＝病気や障害のある子と家族のQOLのために、親の会連絡会、研究・研修活動、VTR製作その他。 対象者及び対象者数＝病気や障害のある子と家族 開催(配布)予定数＝親の会連絡会＝4月、7月、10月、1月開催。 研修会＝2月第1週に開催 各種学会等での展示PRコーナー開設
	49	第30回こどもの難病シンポジウム 目的・内容＝——今を生き、そして未来を生きる／難病の子ども達の“生・活”を護るために—— 日時：平成20年4月26日(土) 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議室 対象者及び対象者数＝自由、参加者250名。	49	第30回こどもの難病シンポジウム 目的・内容＝——今を生き、そして未来を生きる—— 日時：平成20年4月26日(土) 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議室 対象者及び対象者数＝参加：自由
	49	養護教諭セミナー2008 目的・内容＝——病気や障害のある子を知るために—— 日時：平成20年11月8日(土)～9日(日) 場所：難病のこども支援全国ネットワーク研修室 対象者及び対象者数＝主に養護教諭、16名受講。	49	養護教諭セミナー2009 目的・内容＝——病気や障害のある子を知るために—— 日時：平成21年11月7日(土)～8日(日) 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議室 参加：主に養護教諭

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	49	病弱教育セミナー2009 目的・内容＝――病気療養児のより良い教育のために―― 日時：平成21年1月10日（土）～11日（日） 場所：難病のこども支援全国ネットワーク研修室 対象者及び対象者数＝主に病弱教育担当教員、24名	49	病弱教育セミナー2010 目的・内容＝――病気療養児のより良い教育のために―― 日時：平成22年1月9日（土）～10日（日） 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議室 対象者及び対象者数＝参加：主に病弱教育担当教員
	49	啓発人形劇「みんな友達」 目的・内容＝地域の小学校や子ども会を通じて、病気や障害のある子の理解のための人形劇を上演する 対象者及び対象者数＝健常児	49	啓発人形劇「みんな友だち」 目的・内容＝地域の小学校や子ども会を通じて、病気や障害のある子の理解のための人形劇を上演する 対象者及び対象者数＝対象は健常児
日本医師会	41	「大切ないのちを救う心肺蘇生法ABC+D」カードを作成・配布 目的・内容＝救急の日及び救急医療週間にあわせ、国民に対する救急蘇生法の普及・啓発活動 対象者及び対象者数＝都道府県・郡市区医師会・医療機関・官公庁他 開催数（配布数）＝作成部数：約200万部 効果＝国民に心肺蘇生法についての知識を、普及・啓発を図ることができた。	41	「大切ないのちを救う心肺蘇生法ABC+D」カードを作成・配布 目的・内容＝救急の日及び救急医療週間にあわせ、国民に対する救急蘇生法の普及・啓発活動 対象者及び対象者数＝配布先：都道府県・郡市区医師会・官公庁他 開催（配布）予定数＝作成部数：約200万部予定
	41	心肺蘇生法（AED）ポスター作成・配布 目的・内容＝救急の日及び救急医療週間にあわせ、国民に対する救急蘇生法の普及・啓発活動 対象者及び対象者数＝都道府県・郡市区医師会・官公庁他 高等学校、自動車教習所 開催数（配布数）＝作成部数：約14万部 効果＝国民に心肺蘇生法についての知識を、普及・啓発を図ることができた。	41	心肺蘇生法（AED）ポスター作成・配布、携帯電話用サイトを開設 目的・内容＝救急の日及び救急医療週間にあわせ、国民に対する救急蘇生法の普及・啓発活動 対象者及び対象者数＝配布先：都道府県・郡市区医師会・官公庁他 高等学校、自動車教習所 開催（配布）予定数＝作成部数：約14万部予定
	45	日本医師会CM（小児救急医療編） 平成19年12月2日（日）から平成21年2月末までテレビ放映 目的・内容＝小児救急医療について広くアピールするため	43, 44	子ども予防接種週間を実施 目的・内容＝予防接種率の向上

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	43, 44	子ども予防接種週間を実施 平成21年2月28日～3月8日 予防接種週間ポスター作成・配布 2月号の日医雑誌で配布 目的・内容＝予防接種率の向上 対象者及び対象者数＝予防接種実施医療機関数：約13,800 配布先：日本医師会員約16万5000人 効果＝予防接種の普及・啓発並びに予防接種率の向上を図ることができた。		母子保健検討委員会の開催 目的・内容＝今後の予防接種のあり方について検討 対象者及び対象者数＝委員：17名 開催(配布)予定数＝4回開催予定
	44	日本医師会市民公開講座 平成20年11月2日 平成20年11月16日NHK教育テレビで放映 目的・内容＝新時代を迎えた感染症－ワクチン戦略－ 対象者及び対象者数＝一般 参加人数：490人 開催数(配布数)＝1回開催 効果＝感染症を防ぎ、ワクチンについて正しく理解することができた。		平成20年度母子保健講習会を開催予定 平成22年2月21日(日) 対象者及び対象者数＝対象：日本医師会員 参加人数：450人を予定 開催(配布)予定数＝1回開催予定
		母子保健検討委員会を開催 目的・内容＝予防接種の現状や接種率の向上方策など、予防接種のあり方について検討を行った。 対象者及び対象者数＝委員：17名 開催数(配布数)＝4回開催		周産期小児保健指導(ペリネイタル・ビジット)事業の推進 病後児保育(乳幼児健康支援一時預かり事業)の推進 目的・内容＝周産期小児保健指導事業、病後児保育、乳幼児健康支援一時預かり事業の推進
		平成20年度母子保健講習会を開催 平成21年2月22日(日) 目的・内容＝テーマ「子ども支援日本医師会宣言の実現を目指して－3」 対象者及び対象者数＝対象：日本医師会員 参加人数：374人 開催数(配布数)＝1回開催 効果＝母子保健活動を実践するために必要な認識を高めることができた。「今後の予防接種のあり方」についてシンポジウムが行われた。		子ども支援日本医師会宣言 目的・内容＝母と子に関する医療・保健・福祉環境の整備等を推進し、次世代を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つようにする

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
		小児医療費助成制度等の実態調査 目的・内容＝子どもが心身ともに健全に成長していく環境づくりと子育てを社会全体で支えていくシステムづくりのため、小児医療費助成制度、乳幼児健診、予防接種について全国の実態を調査。 対象者及び対象者数＝調査対象：都道府県医師会、市区町村 効果＝小児医療費助成制度等の地域間格差の問題について実態を把握することができた。		
社団法人 日本家族計画協会	32、33、40、50、51	ブロック別母子保健事業研修会 目的・内容＝リプロダクティブ・ヘルスを中心に、女性保健、性暴力・児童虐待・子供の事故予防等を含めた啓発予防教育活動を展開する。 対象者及び対象者数＝母子保健事業関係者992名 開催数(配布数)＝北海道、山形県、千葉県、富山県、愛媛県、大分県 効果＝リプロダクティブ・ヘルスの最新情報、具体的な事例発表を知ることができ、今後の活動に活かされた。	2、3、4、8、9、21、22、26、29、30	電話相談「女性のための健康ホットライン」「思春期・FPホットライン」「不妊ホットライン」「OCサポートコール」 目的・内容＝思春期の精神的・肉体的な問題に対する悩み相談及び、一般婦人の健康問題に対する悩み相談 対象者及び対象者数＝思春期の子ども及び一般 開催(配布)予定数＝毎週月～金10:00～16:00
			全般	平成21年母子保健・家族計画全国大会(健やか親子21全国大会) 目的・内容＝「健やか親子21」の普及啓発 対象者及び対象者数＝「健やか親子21」の推進関係者 開催(配布)予定数＝静岡県
社団法人 日本看護協会	28—49	日本看護学会 小児看護領域 目的・内容＝小児看護全般を扱う。子どもの権利と看護、健康障害を持つ子ども(未熟児・障害児・長期療養児・外科的治療を受けた児等)の看護。子どもの心の発達と看護、子どものヘルスプロモーションに関する看護、子どもの在宅ケア、健康障害を持つ子どもの家族の看護、子どものケア提供システムに関する研究など 対象者及び対象者数＝看護職、看護学生 定員1,200名 開催数(配布数)＝2日 効果＝1,124名の参加	28—49	日本看護学会 小児看護領域 目的・内容＝小児看護全般を扱う。子どもの権利と看護、健康障害を持つ子ども(未熟児・障害児・長期療養児・外科的治療を受けた児等)の看護。子どもの心の発達と看護、子どものヘルスプロモーションに関する看護、子どもの在宅ケア、健康障害を持つ子どもの家族の看護、子どものケア提供システムに関する研究など 対象者及び対象者数＝看護職、看護学生 定員1,200名 開催(配布)予定数＝2日

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	38・45	研修会「子どもの家族を救う小児救急看護」 目的・内容＝小児救急医療体制の現状と課題／トリアージと救急救命処置／家庭看護への支援 対象者及び対象者数＝看護職 場合により参加条件付記 定員120名 開催数(配布数)＝2日 効果＝108名の修了者	38・45	研修会「子どもと家族のための小児救急看護」 目的・内容＝小児救急体制の現状と課題／主な症状とトリアージ・救急処置／小児救急看護の実際／家族と地域の取り組みの実際 対象者及び対象者数＝看護職 場合により参加条件付記 定員120名 開催(配布)予定数＝2日
	38・45	小児救急看護認定看護師の育成 目的＝ 1 少子・核家族化する小児・育児環境の中で社会問題となっている小児の救急において最新の身体・心理・社会的知識・技術を持ち自立して対応できる看護師を育成する 2 小児救急看護認定看護師の育成を通して看護師以外の他職種とも協働しながら小児救急医療の水準の向上を図る 3 小児救急看護認定看護師の育成において救急外来を通して虐待の早期発見家庭における初期対応能力を高める役割を担い子どもと家族のおかれている環境の改善に取り組む 内容＝共通科目90(+30)時間、専門基礎科目90時間、専門科目180時間、学内演習/実習240時間(合計600(+30)時間) 対象者及び対象者数＝看護職 定員30名 開催数(配布数)＝1年	38・45	小児救急看護認定看護師の育成 目的＝ 1 少子・核家族化する小児・育児環境の中で社会問題となっている小児の救急において最新の身体・心理・社会的知識・技術を持ち自立して対応できる看護師を育成する 2 小児救急看護認定看護師の育成を通して看護師以外の他職種とも協働しながら小児救急医療の水準の向上を図る 3 小児救急看護認定看護師の育成において救急外来を通して虐待の早期発見家庭における初期対応能力を高める役割を担い子どもと家族のおかれている環境の改善に取り組む 内容＝共通科目90(+30)時間、専門基礎科目90時間、専門科目180時間、学内演習/実習240時間(合計600(+30)時間) 対象者及び対象者数＝看護職 定員30名 開催(配布)予定数＝1年
	49	研修会「医療依存度の高い子どもの在宅療養支援」 目的・内容＝小児医療の動向／家族支援／社会資源・地域連携 対象者及び対象者数＝看護職 場合により参加条件付記 定員100名 開催数(配布数)＝2日 効果＝91名の修了者	49	研修会「医療依存度の高い子どもの在宅療養支援」 目的・内容＝小児医療の動向／家族支援／社会資源・地域連携 対象者及び対象者数＝看護職 場合により参加条件付記 定員100名 開催(配布)予定数＝2日

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
		研修会「看護における子どもの権利と倫理」 目的・内容＝子どもの人権／疾患を持つ子ども・家族へのインフォ ームドコンセント／プレパレーションとその活用 対象者及び対象者数＝看護職 場合により参加条件付記 定員 120名 開催数(配布数)＝2日 効果＝120名の修了者		研修会「看護における子どもの権利と倫理」 目的・内容＝子どもの人権／疾患を持つ子ども・家族への説明責任 とその実際／プレパレーションとその活用／倫理的意志決定への支 援 対象者及び対象者数＝看護職 場合により参加条件付記 定員120 名 開催(配布)予定数＝2日
社団法人日本歯科医 師会	34	第57回母と子のよい歯のコンクール 目的・内容＝厚生労働省と日本歯科医師会の主催により3歳児歯 科健康診査受診者及びその子供の母親もよい歯を保持している母 子を選出し、優秀者の表彰を行い、歯の健康保持に関する知識の 普及啓発を図る。 優秀母子の表彰については、11月22日(土)に山口市民会館(山口 県山口市)において開催された第29回全国歯科保健大会の式典で 行った。 対象者及び対象者数＝平成19年度に行われた全国の3歳児健康 診査の受診者999,688人のうち、地方審査を経て各都道府県より推 薦のあった母子34組のなかから優秀母子6組を選出。 開催数(配布数)＝1回開催 効果＝幼児期における「う蝕」予防の普及啓発に寄与した。	34	第58回母と子のよい歯のコンクール 目的・内容＝厚生労働省と日本歯科医師会の主催により3歳児歯 科健康診査受診者及びその子供の母親もよい歯を保持している母子 を選出し、優秀者の表彰を行い、歯の健康保持に関する知識の普及啓 発を図る。優秀母子の表彰については、11月21日(土)に高知県立 県民文化ホール(高知県高知市)において開催される第30回全国歯 科保健大会の式典で行う予定である。 対象者及び対象者数＝平成20年度に行われた全国の3歳児健康診 査の受診者のうち、地方審査を経て各都道府県より推薦のあった母 子のなかから優秀母子を選出。 開催(配布)予定数＝1回開催
	34	歯の衛生週間 目的・内容＝歯の衛生に関する正しい知識を国民に対して普及啓 発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図 り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の 寿命を延ばし、もって国民の健康保持増進に寄与することを目的と する。 標語「ありがとう いつもはたらく 歯に感謝」 重点目標「住民主体による8020運動の新たな展開」 対象者及び対象者数＝実施要領及びポスターの配布 中央及び地方の主催団体(中央主催団体:厚生労働省、文部科学 省、日本歯科医師会)から実施要領を配布し周知徹底と普及啓発 に努めるとともに、日本歯磨工業会の協力により作成したポスター 23万枚を都道府県歯科医師会、都道府県教育委員会、都道府県 農業協同組合中央会等関係機関・団体等に配布した。	34	歯の衛生週間 目的・内容＝歯の衛生に関する正しい知識を国民に対して普及啓 発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併 せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を 延ばし、もって国民の健康保持増進に寄与することを目的とする。 標語「かみしめる 生きる喜び 歯とともに」 重点目標「住民主体による8020運動の新たな展開」 対象者及び対象者数＝実施要領及びポスターの配布 中央及び地方の主催団体(中央主催団体:厚生労働省、文部科学 省、日本歯科医師会)から実施要領を配布し周知徹底と普及啓発に 努めるとともに、日本歯磨工業会の協力によりポスターを作成し、都 道府県歯科医師会、都道府県教育委員会、都道府県農業協同組合 中央会等関係機関・団体等に配布。 開催(配布)予定数＝

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	34	母子歯科保健推進協議会懇談会 目的・内容＝母子保健に関する法人格を持つ全国的組織である諸団体との意思疎通を図るために、昭和52年に設置し、地域における歯科保健事業の推進を目指している。平成20年度は平成21年2月25日(水)に開催した。なお、母子保健推進会議の母子保健推進員向けの機関紙「母推さん」に歯科保健に関するページ『8020の里』に毎号原稿を提出し、掲載されている。 対象者及び対象者数＝加盟団体：(社)母子保健推進会議、(社)全国保健センター連合会、(社)日本家族計画協会、(社)母子衛生研究会、(財)日本母子衛生助成会、(社)日本栄養士会、(財)日本食生活協会、(財)日本公衆衛生協会、(社)全国私立保育園連盟、(社会福祉法人)恩賜財団母子愛育会、(社)日本歯科衛生士会、(社)日本歯科医師会 開催数(配布数)＝1回開催	34	母子歯科保健推進協議会 目的・内容＝母子保健に関する法人格を持つ全国的組織である諸団体との意思疎通を図るために、昭和52年に設置し、地域における歯科保健事業の推進を目指している。 対象者及び対象者数＝加盟団体 (社)母子保健推進会議、(社)全国保健センター連合会、(社)日本家族計画協会、(社)母子衛生研究会、(財)日本母子衛生助成会、(社)日本栄養士会、(財)日本食生活協会、(財)日本公衆衛生協会、(社)全国私立保育園連盟、(社会福祉法人)恩賜財団母子愛育会、(社)日本歯科衛生士会、(社)日本歯科医師会 開催(配布)予定数＝1回開催
	32、33、39	リーフレット「窒息事故も防止 よく噛む力を育む」の作成 目的・内容＝健康日本21の活動の一環として標記リーフレットを作成。咀嚼と肥満との関係を中心に親への啓発を行っている。	34	日本小児歯科学会との連携 目的・内容＝母子歯科保健における口腔の健康・増進に際して、小児歯科学会との連携は不可欠と思われるので、今後より連絡等を蜜にとり、協力体制を築いていきたい。
社団法人 日本小児科学会	48,49、59,64,65,66	第6回倫理委員会フォーラム 目的・内容＝「子どものいのちの輝きを支えるために一重度障害をもった子どもの人権と尊厳をどのように守るか」をテーマとした講演会および討論 対象者及び対象者数＝医師、医療関係者、一般 開催数(配布数)＝平成20年12月6日、大阪府 効果＝家庭、社会、学校、園、施設、そして病院における子どもの人権について、患者ケアや家族支援のあり方を考えた	1,2,3,4,6,7,8,9,10,12,14、47	第4回思春期医学臨床講習会 目的・内容＝思春期の子どもたちが必要とする医療を提供するため、小児科医が思春期医学の知識と診療技能を学ぶ場とする。 対象者及び対象者数＝小児科学会会員医師 参加費10,000円 開催(配布)予定数＝平成21年5月16日、17日、九州大学(福岡県福岡市) ポスター2000枚 チラシ2000枚

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	1,2,3,4,6,7,8,9,10,12,14,47	第3回思春期医学臨床講習会 目的・内容＝思春期の子どもたちが必要とする医療を提供するため、小児科医が思春期医学の知識や診療技能を学ぶ場とする 対象者及び対象者数＝小児科学会会員の医師 開催数(配布数)＝平成20年9月27～28日、北海道札幌市 ポスター2,000枚 チラシ2,000枚 効果＝継続的希望者が多く今後も年に一回開催予定。	47, 67	第1回園医のための研修会 目的・内容＝保育園で働く医師や保育士、看護師のための研修会 対象者及び対象者数＝小児科学会会員医師(参加費10,000円) 保育士、看護師(参加費3,000円) 開催(配布)予定数＝平成21年10月4日東京大学山上会館(東京都文京区) ポスター1000枚、チラシ2000枚
	32, 33, 39, 40	Injury Alert(傷害注意速報) 目的・内容＝重症度が高い傷害の発生状況を日本小児科学会雑誌に記録する。情報公開により注意喚起を促す。 対象者及び対象者数＝小児科学会会員医師 開催数(配布数)＝随時 効果＝徐々に、投稿数が増加してきた。一般向けの学会ホームページでも閲覧可能になった	47	日米若手医師交換プログラム 目的・内容＝日米の学術集会で研究発表する。 対象者及び対象者数＝日米の40歳以下の小児科医 開催(配布)予定数＝学術集会(平成21年4月17～19日) Pediatric Academic Societies' Meeting(平成21年5月3～6日)
	32,33,34,37,39,40,52,55,56,57	こどもの健康週間 目的・内容＝各都道府県で、健康に関する講演会、健康相談、栄養相談、血圧・肥満度測定、口腔衛生相談を実施する。 対象者及び対象者数＝一般 開催数(配布数)＝平成20年10月第2週 全国各地 ポスター10,000枚、子育てチェックリスト100,000部 効果＝全国各地で市民対象に、対面・電話相談などを行った。小学生を対象に「健康」に関する作文コンクールを同時に行った。	47	アジア小児医学研究学会(ASPR)若手医師参加支援プログラム 目的・内容＝アジア小児医学研究学会(ASPR)に参加する40歳未満の若手医師を支援する 対象者及び対象者数＝40歳未満の日本人小児科医 開催(配布)予定数＝審査の中から優秀者を数名選択
	47	日米若手医師交換プログラム 目的・内容＝日米の学術集会で研究発表する。 対象者及び対象者数＝日米の40歳以下の小児科医 開催数(配布数)＝学術集会 Pediatric Academic Societies' Meeting 効果＝若手医師の国際学会での研究発表を支援した。	47	小児科医のための臨床研修指導医講習会 目的・内容＝研修指導医が、小児科専門医研修ならびに小児科初期臨床研修の充実をめざすために、指導医としての知識および指導スキルを身につけ、研修改善に向けた具体案の作成と意見交換を行う。 対象者及び対象者数＝小児科専門医の資格を有する指導医 開催(配布)予定数＝2回開催予定 第2回(平成21年7月、大阪) 第3回(平成22年1月、千葉)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	47	小児科医のための臨床研修指導医講習会 目的・内容＝研修指導医が、小児科専門医研修ならびに小児科初期臨床研修の充実をめざすために、指導医としての知識および指導スキルを身につけ、研修改善に向けた具体案作成と意見交換を行う。 対象者及び対象者数＝小児科専門医の資格を有する指導医 開催数(配布数)＝平成21年1月9～11日、千葉県船橋市 効果＝指導スキルの向上を目指すとともに、全国各地の小児科医同士が面識を持ち、研修指導に関する情報を交換した	41, 45	小児救急市民公開フォーラム 目的・内容＝小児救急の現況を広く市民に周知する 対象者及び対象者数＝医師 看護師 行政一般市民 開催(配布)予定数＝1回開催(札幌)
	45	小児救急市民公開フォーラム 目的・内容＝「みんなで考え、みんなで築こう救急医療」をテーマに小児救急の現況を各々の立場から報告 対象者及び対象者数＝医師 看護師 一般市民 開催数(配布数)＝平成21年3月24日、千葉県浦安市 ポスター500枚 チラシ1500枚 効果＝小児救急、小児医療の現況を周知し、今後の在り方を検討した。	43, 44	ワクチンフォーラム 目的・内容＝麻疹0へ向けて 予防接種率の向上 対象者及び対象者数＝医師 看護師 一般市民 開催(配布)予定数＝1回開催(京都)
	43, 44	予防接種フォーラムin大分 目的・内容＝「感染症から次世代を担う子供達を守ろう」をテーマに接種率の向上と罹患率の低下を目指す 対象者及び対象者数＝医師 看護師 一般市民 開催数(配布数)＝平成20年12月20日、大分県大分市 ポスター300枚 チラシ 500枚 効果＝ワクチンの必要性を周知	47	第39回日本小児科学会セミナー 目的・内容＝小児救急、思春期、育児、睡眠時無呼吸、自閉症スペクトラムに関するセミナー。 対象者及び対象者数＝医師、看護師 開催(配布)予定数＝1回開催(平成21年9月27日、旭川グランドホテル、北海道旭川市)
			32, 33, 34, 37, 39, 40, 52, 55, 56, 57	こどもの健康週間 目的・内容＝子どもの健康に関する講演会、健康相談、栄養相談、血圧・肥満度測定、口腔衛生相談等を実施する。 対象者及び対象者数＝一般市民 開催(配布)予定数＝平成21年10月第2週、全国各地

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
			32, 33, 39, 40	Injury Alert(傷害注意速報) 目的・内容＝重症度が高い傷害の発生状況を情報公開することにより注意を喚起する。日本小児科学会雑誌と学会ホームページに掲載。 対象者及び対象者数＝小児科学会会員医師、一般 開催(配布)予定数＝随時
			49	重症心身障害児プロジェクト 目的・内容＝療育を必要とする子どもたちの医療と療育の充実を図る 対象者及び対象者数＝小児科学会会員 開催(配布)予定数＝委員会の開催

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
日本小児看護学会	28,30,31,32,33,46,48,49,50,51,52,53,54,55,63,66(講演等の主たる内容)	<p>日本小児看護学会第18回学術集会 【メインテーマ】「多様なニーズに応える小児看護—子どもと家族を取り巻く育児・医療環境の変化の中で—」 目的・内容【目的】子どもや家族を取り巻く社会状況の変化の中で、拡大しつつある小児看護の役割を踏まえて、子どもたちの健やかな成長発達を目指し、多様な社会のニーズにどのように応えていけるのかを検討する。 【内容】 特別講演「子どもの“心の癒しと社会への自立”」(児童養護施設暁学園園長/CAPNA理事長 菱田理) 会長講演「予防的育児支援の可能性と課題」(名古屋大学 浅野みどり) 一般公開 教育講演「子どもの成長発達と食育—より良いライフスタイルの確立を目指して—」(浜松医科大学 大関武彦) 一般公開 シンポジウム「子どもと家族中心の医療を考える」 テーマセッション「保育園看護職の役割と実際」「小児看護における看護診断」「欧州の病院におけるプレパレーションの実践」「特別支援学校における医療的ケア」「チーム医療における小児看護CNSとの協働とは？」 ランチパフォーマンス「子どもの事故防止:チャイルドシート着用と看護師の役割」「新生児心肺蘇生(NCPR)プログラム」「患者・家族会からの発信」 対象者及び対象者数=看護師、関連専門職、患者会関係者等1,336名、及び一般市民数十名 開催数(配布数):1回、2008年7月26・27日 名古屋国際会議場(名古屋市) 効果:看護師、関連職種に加えて、患者会関係者、一般市民の参加を得て、子どもと家族の多様なニーズについて理解を深め、拡大する看護の役割を考える機会となった。</p>	38,48,49,50,51,52,53,54,55(講演等の主たる内容)	<p>日本小児看護学会第19回学術集会【メインテーマ】「大地の力、子どもの力、語ろう未来—小児看護」 目的・内容=【目的】小児看護関係者が一堂に会し最新の知見や経験を意見交換する。今回は、健全な子どもを育む時の物理的環境および子どもの権利擁護を再考することをテーマとした。 【内容】会長講演「教育と実践を結ぶ—子どもの力が発揮できる看護」(札幌医科大学保健医療学部 蝦名美知子) 一般参加 特別講演「スウェーデンの小児病院における子どもの擁護」(カロリンスカ大学病院 Ms. Kristina Silfvenius) 一般参加 教育講演「子どものための療育環境デザイン」(千葉大学大学院工学研究科 柳沢要) テーマセッション①「特別支援学校で子どもがいきいきと生活するために」②「保育の目、看護の目、専門性から見る子ども—子どもの入院環境支援の協働—」③「小児看護の日常的な臨床場面での倫理的問題について検討してみませんか！」④「看護師ができる子どもの痛みのアセスメントと看護実践」 交流セッション①「医療的ケアを要する子どもの在宅療養に向けた家族支援を考える」②「児童相談所における看護職の役割と実際」③「最前線で子どもの健康を守る保育園看護師からの発言」④「子どもを看る外来のこれから—小児救急看護認定看護師と一緒に考えよう」⑤「児童虐待防止と小児看護」 ランチパフォーマンス ①患者・家族会からの発信②「子どものより快適な周術期を目指して」③「病気とたたかう子どもたちの夢を叶えるキャンプ」④「北の魚を育む—環境変化の中での取り組み」 プレセミナー①「未熟児のポジショニング」②「子どもの呼吸リハビリテーション」③「赤ちゃんマッサージ」④「スウェーデンにおけるプレパレーションの実践」 対象者及び対象者数=看護師、関連専門職、患者会関係者、一般市民(一部)等 開催(配布)予定数:【開催予定回数】1回 【開催日時】2009年7月18・19日(7月17日プレセミナー) 【開催場所】札幌コンベンションセンター</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	49	<p>日本小児看護学会 健やか親子21推進事業委員会プロジェクト研修会「特別支援学校看護師のためのガイドラインの活用」 目的・内容＝【目的】19年度に作成した「特別支援学校において医療的ケアを実施する看護師のためのガイドライン」の活用して、特別支援学校に勤務する看護師の資質向上と適応支援を目指す。 【内容】 1.「特別支援学校看護師のためのガイドライン」の説明(日本小児看護学会プロジェクト代表 勝田仁美)、 2.講演「特別支援学校の看護師に期待すること」(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 下山直人)、3.講演「特別支援学校で医療的ケアを受ける子どもに起こりやすい問題と緊急時の対応」(愛知県心身障害者コロニー中央病院 鈴木基正)、4.分科会(実践報告・意見交換) 1「安全な技術」、2「情報収集とアセスメント、3「連携・協働のあり方対象者及び対象者数＝特別支援学校看護師、学会員、各教育委員会担当者、看護協会等 合計87名 開催数(配布数)＝1回、2008年11月30日 名古屋大学(名古屋市) 効果＝特別支援学校看護師を中心に、一般教諭、養護教諭、教育委員会等、様々な立場から看護師の役割、他職種との協働について理解を深め、雇用形態の問題などが確認された。</p>	49	<p>日本小児看護学会 健やか親子21推進事業委員会プロジェクト研修会「特別支援学校看護師のためのガイドラインの活用」(予定) 目的・内容＝【目的】特別支援学校に勤務する看護師の資質向上と適応支援を目的に、教育委員会との協働で実施している特別支援学校職員の研修を基盤として、「特別支援学校において医療的ケアを実施する看護師のためのガイドライン」を活用した研修会を開催し、その成果を評価する。 【内容】講演、実践報告、討議等 対象者及び対象者数＝特別支援学校看護師、学会員、各教育委員会担当者、看護協会等 開催(配布)予定数＝【開催回数】1回 【開催日時】2009年10月または11月(予定) 【開催場所】東京(予定)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	49,52,54,55,59,66	<p>日本小児看護学会 2008年度(第6回)九州地区地方会 【メインテーマ】「病気の子どもを育む家族を支える看護—家族と看護職のパートナーシップのあり方について—」 目的・内容【目的】病気の子どもを養育する家族は、長い時間をかけて子どもを療養の主体へと育成しており、看護には、病院や施設にとどまらない支援が期待されている。病気の子どもを育む家族への継続した支援のあり方について、小児看護の実践の場で提供されている優れた実践や、実践に根ざした研究成果をシンポジウム・分科会の討議を通して共有し、小児看護実践・教育の質の向上に役立てる目的で開催した。 【内容】1. 特別講演: ・「糖尿病の子どもを育む家族の願い」(日本IDDMネットワーク副理事 岩永幸三) ・「小児看護の現場で家族理論を活用する—家族エンパワーメント理論を用いて—」(高知女子大学看護学部 佐東美緒) 2. 分科会1 第1分科会「小児看護CNSの役割と家族支援の実践 障害を持ちながら生きる新生児/乳時と家族への支援」2第2分科会「低出生体重児を育む家族が抱える問題と支援の実践」3第3分科会「慢性疾患を抱える子どもを育む家族と看護職のパートナーシップのあり方」 対象者及び対象者数＝看護師、助産師、小学校教諭等 116名 開催数(配布数)＝1回、2008年10月11日(土) 佐賀県看護協会看護センター(佐賀県佐賀市) 効果＝様々な疾患を抱える子どもを育てている家族を支える小児看護の優れた実践活動や実践に根ざした研究成果を広く共有することができた。保健・医療・福祉、その他関連機関の専門家との連携の重要性を認識し、小児看護実践や教育の質の向上につながる新たな課題を見出すことができた。</p>	49,52,54,55,59	<p>日本小児看護学会第7回(2009年度)沖縄地区地方会 【メインテーマ】「病院から家庭へ繋がる小児看護—病児・心身障害児の在宅看護でのアプローチとトータルケア—」 目的・内容＝【目的】病気の子どもや障害をもつ子どもを養育している家族の多くが、子どもの療育の場を病院や施設でなく家庭にと希望しており、看護職者にも在宅での支援を期待し求めている。病気や障害を持つ子どもを育む家族への支援のあり方について、在宅の場で提供されている優れた看護実践や、実践に根ざした研究成果をシンポジウムの討議を通して共有する。これにより、在宅における小児の看護の知識を深め、病院・施設から在宅への継続した小児の看護の実践と小児看護の質の向上に役立てることを目的とする。 【内容】1. 第1部 シンポジウム シンポジスト5名 1宮城雅也(沖縄子ども医療センター小児科部長)2下地節子(訪問看護ステーションのぞみ)3訪問看護ステーション「はえばる」より1名4訪問看護の利用1家族4小橋川文江(琉球大学医学部付属病院小児科棟棟長) 2. 第2部 討論 対象者及び対象者数＝看護師、保健師など保健・医療・福祉等の専門職者および一般市民 開催(配布)予定数＝【開催回数】1回 【開催日時】2009年11月21日(土) 【開催場所】琉球大学医学部保健学科(沖縄県西原町)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
日本小児救急医学会	31、32、33、37、38、39、41、42、45、50、51、59	日本小児救急医学会総会 目的・内容＝小児科医・小児外科医・小児麻酔科医、および小児関連看護師・保健師・心理士などの医療技術アップ 対象者及び対象者数＝日本小児救急医学会会員約1000名 開催数(配布数)＝1回開催 奈良県奈良市 効果＝若手小児科医や看護師の参加増加が顕著であり、小児救急医療提供のスキルアップ&スキルミクスが図られている	31、32、33、37、38、39、41、42、45、50、51、59	第22回日本小児救急医学会総会 目的・内容＝小児科医・小児外科医・小児麻酔科医、および小児関連看護師・保健師・心理士などの医療技術アップ、および脳死問題のシンポジウムを開催し、社会医学的対応への学会のスタンスを問う予定 対象者及び対象者数＝日本小児救急医学会会員約1000名以上 開催(配布)予定数＝熊本県熊本市で6月19日20日開催
	31、32、33、37、38、39、41、42、45、	小児救急医療ワークショップ In 北九州 目的・内容＝小児救急医療の基本的知識の底上げと興味を持たせ、小児救急医療提供者の増員を図る参加型ワークショップを取り上げ好評であった。 対象者及び対象者数＝小児科研修医、医学生、看護師、保健福祉関係者、救急救命士など150名 開催数(配布数)＝1回開催 福岡県北九州市 効果＝小児救急医療への関心を高め、小児救急医療実施者の増加を図るとともに基本的知識の底上げ	31、32、33、37、38、39、41、42、45、50、51、59	第3回小児救急ワークショップ in 北九州 目的・内容＝小児救急医療提供の実践学による基本的対応法の修得、トリアージと腹部エコー検査を参加型WSとして、昨年同様、スキルアップを図る。 また、第1回日本児童虐待医学研究会を同時開催して、ジョイント講演を行い、さらに見識を深める予定である。 対象者及び対象者数＝小児科研修医、医学生、看護師、保健福祉関係者、救急救命士など150名 開催(配布)予定数＝福岡県北九州市で8月1日2日の2日間開催
特例社団法人 日本小児保健協会	28	先天性代謝異常等検査事業の廃止への反対声明 声明(大阪府知事宛) 目的・内容＝(社)日本小児科学会、(社)日本小児保健協会、(社)日本小児科医会、日本マス・スクリーニング学会各会長連名で声明を送付。 対象者及び対象者数＝大阪府のホームページに登載 開催数(配布数)＝平成20年4月	50,51,52,55,56,59,61,65	第56回日本小児保健学会開催 メインテーマ:すくすく育て、こころとからだ 目的・内容＝虐待予防、新生児救急、小児高次脳障害、チャイルドシート、親子の対話、乳児健診、予防接種、子育て支援 等幅広い小児保健向上のための講演が行われる 対象者及び対象者数＝保健師、看護師、医師、保育士、教師、栄養士など小児保健関係。予定参加1,500名 開催(配布)予定数＝会期:平成21年10月29～30日、会場:大阪国際会議場
	44	「小児保健セミナー-in おきなわ」 目的・内容＝沖縄県はしか“0”プロジェクトから見てきたもの(浜端宏英氏講演) 対象者及び対象者数＝約200余名参加 開催数(配布数)＝日時:平成21年1月25日(日)、会場:沖縄小児保健センター		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	33	第18回日本小児看護学会 目的・内容＝「子どもの事故防止：チャイルドシートと看護師の役割」(講演 服部益次氏) 開催数(配布数)＝平成20年7月27日		
社団法人日本助産師会	39,40,42,43,44	子育て無料電話相談の実施 目的・内容＝無料電話相談を実施し、子育てに関する悩み相談に応じた。 対象者及び対象者数＝妊産婦、保護者を対象に実施。 1. 47都道府県においては子育て・女性健康支援センターにおいて電話相談を実施。 2. 本部では毎週火曜日に実施。 開催数(配布数)＝1. 子育て・女性健康支援センター事業については集計中。 2. 本部実施分は、48日実施し、相談件数166件であった。 効果＝子育て・女性健康支援センター事業として全国各地での電話相談が定着した。助産師が相談対応することで安心感を与えている。	39,40,42,43,44	子育て無料電話相談の実施 目的・内容＝無料電話相談を実施し、子育てに関する悩み相談に応じる。 対象者及び対象者数＝妊産婦及び乳児を育てる親、祖父母を含む家族 開催(配布)予定数＝1. 47都道府県においては子育て・女性健康支援センターにおいて毎日電話相談を実施。 2. 本部では毎週火曜日に実施。
	28,30,31,35,36	新生児救急対応強化のための研修会開催 目的・内容＝助産師の救急対応強化のための研修会を実施 対象者及び対象者数＝助産師対象 計61名参加 開催数(配布数)＝東京で2回実施 効果＝周産期死亡、新生児死亡の防止のための知識・技術の充実に図ることができた。	28,30,31,35,36	新生児救急対応強化のための研修会開催 目的・内容＝助産師の救急対応強化のための研修会を実施し、新生児救急蘇生認定者を増やす。 対象者及び対象者数＝助産師 開催(配布)予定数＝東京で3回開催
日本性感染症学会			3. 9. 10	「性感染症 診断・治療 ガイドライン2010」の準備 目的・内容＝2年ごとに改訂してきているガイドラインで、今回は特に小児科領域の性感染症の項目を増設する予定で、ガイドライン委員会(委員長:岸本寿男岡山県環境保健センター所長)を開催する。 対象者及び対象者数＝医療・保健関係者

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
			3. 10. 15	学会支部の創設 目的・内容＝全国各都道府県に散在する各STD研究会の連絡協議体を創設し、学会の支部化へと推進する。目標として、年一回の支部総会を開催し、行政とも連絡を取りながら、性感染症予防啓発事業を行う。 対象者及び対象者数＝医療・保健関係者のほか、学校養護教諭、保健所などとの連携を心掛ける。 開催(配布)予定数＝全国を8ブロックに分けて支部を作る。
日本赤十字社	38,47	小児救急医療拠点病院 目的・内容＝2次医療圏域で小児救急医療体制を確保するため。 対象者及び対象者数＝2次医療圏で小児救急医療を必要としている方々 開催数(配布数)＝全国で6赤十字医療施設にて設置。	38,47	小児救急医療拠点病院 目的・内容＝2次医療圏域で小児救急医療体制を確保するため。 対象者及び対象者数＝2次医療圏で小児救急医療を必要としている方々 開催(配布)予定数＝全国で6赤十字医療施設にて設置。
	28,30,31,42	NICU病床の設置 目的・内容＝新生児集中治療室の充実のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催数(配布数)＝全国で34赤十字医療施設(380床)にて設置。	28,30,31,42	NICU病床の設置 目的・内容＝新生児集中治療室の充実のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催(配布)予定数＝全国で34赤十字医療施設(380床)にて設置。
	33,38,39,43,44,49	小児健康相談の実施 目的・内容＝小児の健康管理体制の醸成のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催数(配布数)＝全国で38赤十字医療施設にて実施。	33、38、39、43、44、49	小児健康相談の実施 目的・内容＝小児の健康管理体制の醸成のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催(配布)予定数＝全国で38赤十字医療施設にて実施。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	33,39,41	赤十字幼児安全法講習会 目的・内容＝子どもに起こりやすい事故に対する手当(心肺蘇生法や応急手当等)の方法と事故防止、家庭内での看病の方法を中心とした講習会を開催した。 対象者及び対象者数＝全国の日本赤十字社各都道府県支部で実施 受講者数 一般 63,890人 開催数(配布数)＝開催数 2,596回 効果＝子どもに起こりやすい事故を予防するための環境整備や工夫、心肺蘇生法・AEDを用いた除細動などの一次救命処置の方法を全国の一般市民に普及できた。	33,39,41	赤十字幼児安全法講習会 目的・内容＝子どもに起こりやすい事故に対する手当(心肺蘇生法や応急手当等)の方法と事故防止、家庭内での看病の方法を中心とした講習会を開催する。 対象者及び対象者数＝全国の日本赤十字社各都道府県支部で実施。対象者 一般 70,279人 開催(配布)予定数＝開催数 2,750回
	33,39,41	赤十字幼児安全法指導員養成講習会 目的・内容＝赤十字幼児安全法の指導者を養成するための講習会を開催した。 対象者及び対象者数＝1都1府10県の日本赤十字社支部で実施(一般及び職員) 受講者数 101人 開催数(配布数)＝開催数 12回 効果＝地域における講習の指導者が増加し、講習会を上げていくことができた	33,39,41	赤十字幼児安全法指導員養成講習会 目的・内容＝赤十字幼児安全法の指導者を養成するための講習会を開催する。 対象者及び対象者数＝1都2府10県の日本赤十字社支部で実施。対象者 一般及び職員 120人 開催(配布)予定数＝開催数 13回
	33,39,41	ビデオ「赤十字幼児安全法」小冊子「知っておきたい子どもの看病手当のしかた」 目的・内容＝赤十字幼児安全法の補助教材として使用する他、同講習内容への関心を高めるために一般へ頒布した。 対象者及び対象者数＝全国の希望者に頒布 開催数(配布数)＝ビデオの頒布数56本 小冊子の頒布49,444部 効果＝講習の理解を深めるとともに、子どもの尊い命を守り健全に育てる関心を高めるもことができた。	33,39,41	ビデオ「赤十字幼児安全法」小冊子「知っておきたい子どもの看病 手当のしかた」 目的・内容＝赤十字幼児安全法講習の補助教材として使用するほか、同講習内容への関心を高めてもらうために、一般へ頒布する。 対象者及び対象者数＝一般への頒布 開催(配布)予定数＝ビデオ62本頒布、小冊子約54,388部頒布
	17,18,19,35,36	妊産婦健康相談の実施 目的・内容＝妊産婦の健康管理体制の醸成のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催数(配布数)＝全国で49赤十字医療施設にて実施	17,18,19,35,36	妊産婦健康相談の実施 目的・内容＝妊産婦の健康管理体制の醸成のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催(配布)予定数＝全国で49赤十字医療施設にて実施。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	17,18,22,28,29,30,31,42,59	総合周産期母子医療センター 目的・内容＝周産期医療の充実のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催数(配布数)＝全国で8赤十字医療施設にて設置。	17,18,22,28,29,30,31,42,59	総合周産期母子医療センター 目的・内容＝周産期医療の充実のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催(配布)予定数＝全国で8赤十字医療施設にて設置
	17,18,22,28,29,30,31,42,59	地域周産期母子医療センター 目的・内容＝周産期医療の充実のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催数(配布数)＝全国で23赤十字医療施設にて設置。	17,18,22,28,29,30,31,42,59	地域周産期母子医療センター 目的・内容＝周産期医療の充実のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催(配布)予定数＝全国で23赤十字医療施設にて設置。
	17,18,28,30,31,32,33,35,36,42,52,54,58	両親学級の開催 目的・内容＝妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催数(配布数)＝全国で60赤十字医療施設にて実施。	17, 18, 28,30,31,32,33,35,36,42,52,54,58	両親学級の開催 目的・内容＝妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催(配布)予定数＝全国で60赤十字医療施設にて実施。
	30,31,32,33,38,39,42,43,44,58	乳幼児健康相談の実施 目的・内容＝乳幼児の健康管理体制の醸成のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催数(配布数)＝全国で52赤十字医療施設にて実施。	30,31,32,33,38,39,42,43,44,58	乳幼児健康相談の実施 目的・内容＝乳幼児の健康管理体制の醸成のため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催(配布)予定数＝全国で52赤十字医療施設にて実施
	38,42,43,44,52,54	育児相談 目的・内容＝育児全般における相談・啓蒙の場を提供するため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催数(配布数)＝全国で46赤十字医療施設にて実施。	38,42,43,44,52,54	育児相談 目的・内容＝育児全般における相談・啓蒙の場を提供するため。 対象者及び対象者数＝患者様及びそのご家族 開催(配布)予定数＝全国で46赤十字医療施設にて実施。
日本保育園保健協議会	48,52,54,55	こども未来財団委託調査研究「保育園における感染症の手引き」製作(主任研究者 鴨下重彦) 目的・内容＝保育園における感染症伝染予防及び登園基準に関する研究報告。今後、本調査を基礎にガイドラインが厚労省より発表され、その普及に努める 対象者及び対象者数＝会員及び全国の保育者向け 開催数(配布数)＝出版部数7,000部	43,44	日本保育園保健協議会 生涯研修システム 全国研修会「広げよう見直そう こどもの健康」－保育園の感染症対策と登園基準」 目的・内容＝平成21年11月29日 午前10時～午後4時 対象者及び対象者数＝東京大学 安田講堂 開催(配布)予定数＝会頭 藤城富美子

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	48,52,54,55	第14回日本保育園保健学会開催「健やかな毎日の保育保健」会頭 鴨下重彦 目的・内容＝保育保健に関連して、あそびとその空間、感染症と登園基準、食物アレルギー、指しゃぶり、AED講習会 対象者及び対象者数＝会員及び全国の保育者向け 参加者:約800名 開催数(配布数)＝平成20年10月24日～25日	48,52,54,55	日本保育園保健協議会 生涯研修システム 第2ブロック研修会「夢多き子どもたちの明日への保育」 目的・内容＝平成21年9月6日午前9時30分～午後4時10分 対象者及び対象者数＝埼玉会館(埼玉県さいたま市浦和区高砂) 開催(配布)予定数＝会頭 並木由美江
	48,52,54,55	日本保育園保健協議会生涯研修システム 第1ブロック研修会「ホスピタリティマインドあふれる保育士になるために」盛岡(会頭 三浦義孝) 目的・内容＝高塚人志氏による「コミュニケーションスキルトレーニング」 対象者及び対象者数＝参加者78名 開催数(配布数)＝平成21年3月8日	43,44	日本保育園保健協議会 生涯研修システム 第4ブロック研修会「保育園における感染症の手引き」(仮題) 目的・内容＝平成22年2月14日午前9時30分～午後3時30分 対象者及び対象者数＝広島県医師会館講堂 開催(配布)予定数＝会頭 新田康郎
	48,52,54,55	日本保育園保健協議会生涯研修システム 第4ブロック研修会「明日から役立つ保育保健」鹿児島(会頭 池田琢哉) 目的・内容＝小児のメタボリックシンドローム、子育て支援、ワクチン、皮膚疾患など日常の保育で役立つ講演会を開催した。 対象者及び対象者数＝参加350名 開催数(配布数)＝平成20年11月30日		
	48,52,54,55	日本保育園保健協議会生涯研修システム 全国研修会「新しい保育所保育指針における専門性の連携」神戸(会頭 藤田 位) 目的・内容＝保育者と医療者の連携、保育所における看護師の役割、保育士のメンタルヘルス、乳幼児の問題行動への対応、感染症・薬・登園基準など講演会 対象者及び対象者数＝参加 約220人 開催数(配布数)＝平成21年2月1日		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	50,51,48,52,54,55	日本保育園保健協議会生涯研修システム 全国研修会「新しい保育所保育指針における専門性の連携」神戸（会頭 藤田 位） 目的・内容＝保育現場で関心が高い虐待、口腔の発育、生活リズムと食習慣などの講演会開催 対象者及び対象者数＝参加 約120人 開催数（配布数）＝平成21年3月20日		
	43,44,48,52,54,55	機関誌「保育と保健」発行 ニュースレター「保育と保健ニュース」発行 目的・内容＝保育現場で必要な保健知識の発信 対象者及び対象者数＝保育園職員、嘱託医、その他行政、教育等専門分野の保育園関係者 開催数（配布数）＝保育と保健は年間2回・発行部数3700、ニュースは年4回・発行部数5500部		
社会福祉法人 日本保育協会	46、55	保育所保育保健推進セミナー（日本財団助成事業） 目的・内容＝保育所における小児保健の理論と手法に関する研修を実施 対象者及び対象者数＝保育所の保育士、看護師等 704名 開催数（配布数）＝2回（東京、大阪） 効果＝保育所職員の小児保健に関する専門性の向上	46、55	保育所保育保健推進セミナー（日本財団助成事業） 目的・内容＝保育所における小児保健の理論と手法に関する研修を実施 対象者及び対象者数＝保育所の保育士、看護師等 600名予定 開催（配布）予定数＝2回（東京、大阪）
	46	保育所事故予防研修会（国庫補助事業） 目的・内容＝保育所における事故防止についての意義と実際の対応について研修を実施 対象者及び対象者数＝保育所の保育士等 124名 開催数（配布数）＝1回 効果＝保育所職員の子どもの事故防止に関する専門性の向上	46	保育所事故予防研修会（国庫補助事業） 目的・内容＝保育所における事故防止についての意義と実際の対応について研修を実施 対象者及び対象者数＝保育所の保育士等 300名予定 開催（配布）予定数＝1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
財団法人 日本母子衛生助成会	30、31、32、33、37	小児科受診ノート 目的・内容＝子どもがより健康な生活を送るために、保護者に対して最新の保健医療情報の提供を行い、少子化対策の一環に寄与することを目的とする。 対象者及び対象者数＝小児科病医院の受診者 開催数(配布数)＝660,000部 効果＝家庭での症状別ケアポイントや薬の上手な使い方と共に症状記入欄を設け、小児科にかかる際の情報として活用できた。	30、31、32、33、37	「小児科受診ノート」 目的・内容＝子どもがより健康な生活を送るために、保護者に対して最新の保健医療情報の提供を行い、少子化対策の一環に寄与することを目的とする。 対象者及び対象者数＝小児科病医院の受診時、(一部市町村で実施される健診時に配布)660,000人 開催(配布)予定数＝660,000部
日本母性衛生学会	31	平成20年度鹿児島県母性衛生学会学術集会 目的・内容＝講演「環境温度が赤ちゃんの体温調節機構に及ぼす影響－カンガルーケアの問題点－SIDSの原因・予防法について」 対象者及び対象者数＝産科医師・助産師・保健師・看護師等 200名 開催数(配布数)＝1回開催・鹿児島県 効果＝新生児の体温調節機構の側面からSIDSの原因・予防を考慮したカンガルーケアの実施について考えることができた。	41	第50回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容＝実践講座「新生児蘇生 知ろう、練習しよう、復習しよう」 対象者及び対象者数＝医師・助産師・看護師・保健師・歯科医師・栄養師・養護教諭・学生等 開催(配布)予定数＝1回開催(神奈川県)
社団法人 日本薬剤師会	35(妊娠中の喫煙防止等)	薬局・薬店における禁煙支援の強化 目的・内容＝喫煙のあたえる健康影響の啓発強化、禁煙を希望する者への禁煙支援の強化、特に妊婦・授乳婦への啓発(薬剤師会が実施する年間啓発活動計画に盛り込んでいる) 対象者及び対象者数＝薬局来局者・薬店来店者 効果＝喫煙による健康影響に関する知識の普及		
財団法人 母子衛生研究会	29～32、35	妊娠・育児期間中の禁煙啓発普及シンポジウム開催 目的・内容＝妊娠・育児期間中の禁煙支援に関する最新の情報提供と禁煙指導の推進。 対象者及び対象者数＝助産師、保健師281名 開催数(配布数)＝2回開催 効果＝効果的な禁煙支援のあり方が理解され、妊産婦への指導が推進された。	19、51,54,55	産じょく期母親の健康・育児支援啓発普及シンポジウム 目的・内容＝産じょく期母親の健康及び育児に関する最新の情報提供と支援の推進。 対象者及び対象者数＝保健師、助産師等 150名 開催(配布)予定数＝年間1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	17～21、28～39、41～44、58	母子健康手帳副読本「赤ちゃん&子育てインフォ」配布 目的・内容＝妊婦に対する妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数＝妊娠届出時に母子健康手帳副読本として妊婦130万人に配布 開催数(配布数)＝全国の市町村等を通じて130万部配布 効果＝妊婦が妊娠・出産・育児に対する正しい知識を身につけることができた。	17～21、28～39、41～44、58	母子健康手帳副読本「赤ちゃん&子育てインフォ」 目的・内容＝妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数＝妊娠届出の妊婦130万人 開催(配布)予定数＝年間約130万部
	31～33、39～42	「わが家の安心ガイドブック」配布 目的・内容＝乳幼児の事故予防、応急手当の方法についての正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数＝1歳6か月児健康診査時等の保護者97万人に配布 開催数(配布数)＝全国の市町村等を通じて97万部配布 効果＝乳幼児の事故防止、応急手当の仕方を保護者に分かりやすく解説したことで、事故の減少に貢献した。	31～33、39～42	「わが家の安心ガイドブック」 目的・内容＝乳幼児の事故予防、応急手当の方法についての正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数＝1歳6か月児健康診査時等の保護者 97万人 開催(配布)予定数＝年間約97万部
	29～32、35	妊娠・育児期間中の禁煙啓発普及冊子配布 目的・内容＝乳幼児保育者に対する自動車乗車中の重傷事故を防止するための最新情報提供及び保護者へのチャイルドシート使用指導の推進。 対象者及び対象者数＝産婦人科病産院等1,500か所 開催数(配布数)＝産婦人科病産院等へ10万6千部配布 効果＝妊娠・育児期間中の禁煙の必要性が理解され、妊産婦の禁煙支援が推進された。	19、51,54,55	産じょく期母親の健康・育児支援啓発普及冊子 目的・内容＝産じょく期母親の健康及び育児支援啓発 対象者及び対象者数＝産婦人科病産院等 約4,300か所 開催(配布)予定数＝年間10万4千部
	17～21、28～39、41～44、52、54、55、58	インターネット「赤ちゃん&子育てインフォ」 目的・内容＝妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数＝妊産婦および育児期の保護者 開催数(配布数)＝年間アクセス数250万件 効果＝妊娠・出産・育児についての疑問や不安に関する情報が得られ、育児不安の軽減が図れた。	17～21、28～39、41～44、52、54、55、58	インターネット「赤ちゃん&子育てインフォ」 目的・内容＝妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象者及び対象者数＝妊産婦および育児期の保護者等250万人

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
社団法人 母子保健推進会議	17-19,22,24,28,45、50-55、	平成20年度「健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)」 目的・内容＝目的：健やか親子21の推進、母子保健知識の普及啓発、ならびに地域母子保健事業の推進を図る。 内容：功労者表彰(厚生労働大臣表彰、本会議表彰等)、特別講演「最近の母子保健を取り巻く状況と母推活動への期待」、シンポジウム「母子保健推進員等の活動の実際」等。 対象者及び対象者数＝保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等1500名 開催数(配布数)＝1回開催(福岡県) 効果＝講演、シンポジウムを通して家族の心の支えあい等について考えるとともに、地域母子保健活動に功績のあった個人・団体への表彰。本人、仲間に多大な喜び、自信、意識の向上となった。	15,16、19、30-35,39,40,43,44、50-58,60-63,66	全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会 目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつながることを目的とする。 内容：全国の母子保健推進員の活動報告 対象者及び対象者数＝厚生労働省母子保健課、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、関係団体代表等200名 開催(配布)予定数＝1回開催(静岡県)
	15,16、18,19、28-35,50-55,63、66	「母子保健推進員研修会」・「母子歯科保健研修会」 目的・内容＝目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：虐待予防と支援、子どもの発達と親と子のかかわり、食育の推進、軽度発達障害の子どもの地域での支援、「生後4か月までの全戸訪問事業」、活動報告等。併設して、母子歯科保健をテーマにした研修を行なう。 対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,540名 開催数(配布数)＝12回開催：山口県・佐賀県・富山県・長崎県・長野県・熊本県・鹿児島県・群馬県・福岡県・沖縄県・栃木県・豊田市 効果＝母子保健推進員の資質の向上と母推・保健師等の連携を深めることに寄与。母子歯科保健研修会は乳幼児期からの口腔、全身の健康への意識の向上へつながった。	2,3,9,10,15,16、19、33,34,35,39,40、50-55,58,62,63,66	母子保健推進員研修会、母子歯科保健研修会 目的・内容＝目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：虐待予防、子どもの生活リズム、親と子のかかわり、子どもの事故予防、母子歯科保健、食育などをテーマに講演、活動報告。併せて乳幼児の口腔ケア等をテーマに母子歯科保健研修会を併設開催する。 対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名程度 開催(配布)予定数＝12回開催(佐賀県・山口県・長野県・富山県・長崎県・熊本県・群馬県・鹿児島県・静岡県・白井市・沖縄県・栃木県)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	34、63	「幼児用及び大人用歯ブラシセット」配布事業 目的・内容＝目的：乳幼児期の歯科保健指導と母親自身の口腔啓発。 内容：1歳6か月・3歳児健診、2歳児歯科健診時配布用教材、各年・月齢の特徴、留意点、歯みがきのポイント。 対象者及び対象者数＝市町村（健診時に対象者へ） 開催数（配布数）＝1歳6か月用200,000セット、3歳児用150,000セット、大人用41,200本 効果＝1.6か月、3歳児健診時の歯みがき指導で配布・活用され、むし歯罹患率の低下につながっている。	34、63	歯科保健技術者研修会 目的・内容＝目的：8020と健やか親子21は住民が主体性を持ち進めるが、それを支える専門職、関係者に対して最新の情報を伝える必要がある。 内容：歯科保健からの食育の推進など。 対象者及び対象者数＝保健師、養護教諭、保育士、歯科衛生士等500名 開催（配布）予定数＝3回開催（鳥取県・岩手県・青森県）
	16、34,63	リーフレット「よく噛み 育てる ころとからだ」の制作・配付 目的・内容＝目的：乳幼児期からのむし歯予防の大切さと留意点を広く知らしめる。 内容：妊婦と乳幼児への口腔ケア、妊婦の歯周病と早産の関係など。 対象者及び対象者数＝市町村保健センター等 開催数（配布数）＝500,000部制作・配布 効果＝上記歯ブラシセットとともに配布等により、乳幼児期からのむし歯予防の啓発に活用された。	34、63	幼児用歯ブラシセット 目的・内容＝目的：乳幼児期からの正しい歯の磨き方の普及啓発 内容：1歳6か月・3歳児用歯ブラシとリーフレットのセットを県・保健所を通して配布 対象者及び対象者数＝市町村（健診時等に対象者へ） 開催（配布）予定数＝計350,000セットを配布
	34、51	歯科保健技術者研修会 目的・内容＝目的：8020と健やか親子21は住民が主体性を持ち進めるが、それを支える専門職、関係者に対して最新の情報を伝える必要がある。 内容：歯科保健からの食育の推進など。 対象者及び対象者数＝保健師、養護教諭、保育士、歯科衛生士等350名 開催数（配布数）＝2回で開催（鳥取県、青森県） 効果＝歯科保健が口腔内に留まらず対象者の生活全体にかかわることの知識、意識を深め、関係者の連携強化が図られた。	16、34、63	リーフレット「よく噛み 育てる ころとからだ」、パンフレット「楽しく食べて元気な子－歯科からの食育メッセージ」 目的・内容＝目的：母と子の歯科保健知識普及運動推進 内容：1歳6か月・3歳児健診等歯科指導用教材の配布、各年齢・月齢の特徴、留意点、歯みがきのポイント、離乳食、食育の進め方についてなどを解説。A5判4頁 対象者及び対象者数＝市町村保健センター等 開催（配布）予定数＝500,00部制作・配布

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	34	「歯のパスポート」の制作・頒布 目的・内容＝目的：6歳臼歯のむし歯予防に焦点を当て、6歳臼歯についての知識の普及。 内容：ブラッシングの方法、おやつとの与え方、フッ素、シーラントなどについて 対象者及び対象者数＝6歳前後の乳幼児をもつ親 開催数（配布数）＝三重県歯科医師会を通じて60,000部配布 効果＝乳幼児健診時等で行われる歯みがき指導で活用され、むし歯罹患率の減少につながっている。	16、34、63	歯科保健指導用パネル「食育と口腔の健康」(仮)シリーズ 目的・内容＝目的：口腔の健康は全身及び対象者の生活の質に係ることの知識と意識の向上を図る。 内容：「食育と歯科保健」シリーズA全判 対象者及び対象者数＝都道府県、政令市、市町村、各県歯科医師会関係 開催（配布）予定数＝9月完成予定
	5,16、33、63	パンフレット「楽しく食べて元気な子～歯科からの食育メッセージ～」の制作・配布 目的・内容＝目的：歯科保健からの食育支援と乳幼児期の歯科保健指導。 内容：授乳・離乳の支援、食育の進め方、口腔の発達とむし歯予防、早寝早起き朝ごはん運動の推進など。B5判。24ページ 対象者及び対象者数＝歯科関係者、自治体母子歯科保健部門 開催数（配布数）＝各10,000部制作・配布 効果＝乳幼児期の「食」、その中での歯科の役割の大切さを正しく伝達する手段として、大いに活用された。	34	「8020の里賞」創設 目的・内容＝目的：母子歯科保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る。 内容：審査会を開き受賞団体を決定、表彰を行う。 対象者及び対象者数＝県・市町村協議会 開催（配布）予定数＝1回開催(静岡県)
	5,16、17-19、30-35,43、50-56,60-63,66	「地域母子保健福祉情報紙—母推さん—」の制作・発行 目的・内容＝目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：厚生労働省、専門職、会員団体による情報提供、地域母子保健活動の実際、本会議主催研修会の報告など。 対象者及び対象者数＝都道府県・保健所・市町村・関係団体等へ毎月10,000部発行 開催数（配布数）＝12回（毎月1回1日発行） 効果＝行政、専門職からの情報、地域における母子保健活動の実際を広く掲載、毎号多くの反響が寄せられている。	29,35	ポスター、リーフレット「ママ、パパ、タバコすわないで—タバコは早産・低出生体重児の誘因になります」 目的・内容＝目的：妊婦の喫煙による胎児への弊害、副流煙、SIDSの危険性を広く知らしめる。 内容：妊婦の喫煙、副流煙の特に乳幼児への危険性を知らしめるポスターを制作、配布。 対象者及び対象者数＝都道府県、政令市、病産院、関係団体 開催（配布）予定数＝ポスター：20,000枚 リーフレット：10,000部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	29,31,35	<p>ポスター、リーフレット「ママ、パパ、タバコすわないでータバコは早産・低出生体重児の誘因になります」</p> <p>目的・内容＝目的：妊婦の喫煙が早産、低出生体重時の出産に誘引すること、副流煙による子どもへの弊害を広く知らしめる。</p> <p>内容：ポスター、リーフレットを制作し、喫煙による危険性を知らしめる。</p> <p>対象者及び対象者数＝都道府県、政令市、中核市、市町村の各母子保健主管課、病医院産婦人科、関係団体等</p> <p>開催数(配布数)＝ポスター20,000枚、リーフレット10,000部制作、配布</p> <p>効果＝妊娠中や子育て期に特化した喫煙がもたらす弊害についての教材が少ない中、必要な情報を端的に訴え、意識の啓発につながっている。</p>	2,3,9,10,15,16,19,33-35,40,50-58,63,66	<p>「地域母子保健福祉情報紙―母推さん―」の発行</p> <p>目的・内容＝目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。</p> <p>内容：厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。</p> <p>対象者及び対象者数＝都道府県・保健所・市町村・関係団体等毎月10,000部発行</p> <p>開催(配布)予定数＝12回(毎月1回発行)</p>
	7,9,10,15,19,34,39,40,50-55,58,62,63	<p>独立行政法人福祉医療機構(WAM)助成「母子保健推進員等の資質向上と組織育成事業」</p> <p>目的・内容＝目的：市町村が実施する母子保健事業、母子保健推進員等の組織、及び活動の実態について調査することにより、母子保健推進員等の活動が認知され活性化することにより、安心して楽しく子育てができる地域づくりに寄与する。</p> <p>内容：母子保健推進員等の組織及び活動実態調査(全国1811市町村母子保健担当課に調査票を送付)、母子保健推進員等を対象とした研修会、及び現地調査の実施(9箇所)、マニュアルの制作・配布(A4判96頁)、リーフレットの制作・配布(A5判変形)、報告書の制作(A4判80頁)など。</p> <p>対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等</p> <p>開催数(配布数)＝実態調査：1377市町村より回答(76%)、研修会・現地調査：全国9箇所、マニュアルの制作・配布：2,000部、リーフレット：100,000部、報告書：200部</p> <p>効果＝市町村における母子保健事業、乳児家庭訪問事業、母子保健推進等の組織と活動及び資質向上事業、充実していくべき方向性を示唆することができた。</p>	2,3,9,10,15,19,34,39,40,50-55,58,62,63	<p>国際協力</p> <p>目的・内容＝目的：日本の地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の経験を途上国へ伝え、対象国の母子保健水準の向上に寄与するとともに、日本の母子保健推進員が日頃の活動を客観的に見つめ直し、意識の高揚につなげる。</p> <p>内容：国際協力機構(JICA)などに協力し、先駆的に母子保健推進員活動を展開する県に視察団の受け入れを依頼し、同県の母子保健推進員等との交流を図る。</p> <p>対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師</p> <p>開催(配布)予定数＝3回(予定)6月,7月,11月</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	46	「歯の健康miniブック」 目的・内容＝妊婦および乳幼児をもつ家族が歯の健康について正しい知識の普及啓発および最新情報の提供 対象者及び対象者数＝妊婦および家族100万人に配布。 開催数(配布数)＝100万部	46	「歯の健康miniブック」 目的・内容＝妊婦および乳幼児をもつ家族が歯の健康について正しい知識の普及啓発および最新情報の提供。 対象者及び対象者数＝妊婦および家族100万人に配布 開催(配布)予定数＝100万部
	49	「子育てインフォ」e-ものe-情報 目的・内容＝ホームページで育児相談受付や情報の配信を行なう。 開催数(配布数)＝年間アクセス200万件		
日本小児総合医療施設協議会			33,39,40,46	「子どもの事故防止セミナー」の開催 目的・内容＝家庭内における事故防止のためのセミナーを開催。 対象者及び対象者数＝乳幼児を持つ親と子ども 開催(配布)予定数＝春と秋の2回開催
			44	予防接種の推進アンケート 目的・内容＝各施設の予防接種実施状況についてアンケートを行う。 対象者及び対象者数＝小児総合医療施設協議会加盟29施設 開催(配布)予定数＝アンケート調査1回

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
日本小児神経学会	49	医療的ケア講師養成セミナー 目的・内容＝身体障害者療育支援、教育現場での医療的ケアの実践、障害を持つ児への診療支援。2008年8月23日、高松市で開催。 対象者及び対象者数＝医師、教育・保健関係者71名 開催数(配布数)＝1回開催、香川県 効果＝各地からの参加者が教育現場での、教師による医療的ケアの指導者となりうる素地ができた。	49	医療的ケア講師養成セミナー 目的・内容＝身体障害者療育支援、教育現場での医療的ケアの実践、障害を持つ児への診療支援。2009年11月、東京都で開催予定 対象者及び対象者数＝医師、教育・保健関係者80名 開催(配布)予定数＝1回開催、東京都
財団法人 日本食生活協会	34	冊子「子どもの歯と食育～1歳6か月児健康診査のために～」 目的・内容＝1歳6か月児健診時のために作成。1歳6か月頃の食事と虫歯予防についてまとめる 対象者及び対象者数＝1歳6か月児とその親 開催数(配布数)＝8,000部	34	冊子「子どもの歯と食育～1歳6か月児健康診査のために～」 目的・内容＝1歳6か月児健診時のために作成。1歳6か月頃の食事と虫歯予防についてまとめる。 対象者及び対象者数＝1歳6か月児とその親 開催(配布)予定数＝8,000部
	34	冊子「子どもの歯と食育～3歳児健康診査のために～」 目的・内容＝3歳児健診時のために作成。3歳児頃の食事と虫歯予防についてまとめる。 対象者及び対象者数＝3歳児とその親 開催数(配布数)＝6,000部	34	冊子「子どもの歯と食育～3歳児健康診査のために～」 目的・内容＝3歳児健診時のために作成。3歳児頃の食事と虫歯予防についてまとめる。 対象者及び対象者数＝3歳児とその親 開催(配布)予定数＝6,000部

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
全国病児保育協議会	46、52、54、55、56	第18回全国病児保育研究大会 目的・内容＝基調講演「究極の子育て支援－病児保育の意義と課題」 ・会頭特別講演「子どもたち中心の医療を考える」 ・教育講演Ⅰ「子どもの育ちと環境」 ・教育講演Ⅱ+ステップアップ研修「病児保育施設における感染症対策」 ・基礎研修「保育看護」「病児保育総論」 ・事例で学ぶ基礎看護Ⅰ総論「子どもの身体と病気の特徴」 ・事例で学ぶ基礎看護Ⅱ各論「実際の症例で学ぶ」 ・事例で学ぶ基礎保育Ⅰ総論「子どもの発達と保育」 ・事例で学ぶ基礎保育Ⅱ各論「実際の症例で学ぶ」 ・なんでも相談Ⅰ（施設長向け） ・なんでも相談Ⅱ（施設タイプ別） ・なんでも相談Ⅲ（その他） ・一般演題：ポスター発表、分科会 ・厚労省行政説明 ・調査研究委員会Ⅰ、Ⅱ 対象者及び対象者数＝病児保育事業に携わる者（病児保育室施設長、医師、看護師、保育士、教育関係者、行政担当者等） 開催数（配布数）＝1回 効果＝質の高い病児保育の実施が求められる中、病児・病後児保育事業に携わっている人たちにとって大変充実した“研修の場”となりました	52、54、55、56、57	第19回全国病児保育研究大会 目的・内容＝特別講演「絵本の中の子どもたち」 ・教育講演Ⅰ「ちょっと気になるこどもたち－発達障害の子との接し方－」 ・教育講演Ⅱ「子どもの事故は防止できる」 ・特別企画「カムジー先生のすくすく子育て」 ・会頭講演「小児科医にとっての病児保育」 ・シンポジウム「連携から見える病児保育の現在、未来」 ・研修プログラム :基礎研修（「総論」「保育看護」「保育」「看護」） :ステップアップ研修 対象者及び対象者数＝病児保育事業に携わる者（病児保育室施設長、医師、看護師、保育士、教育関係者、行政担当者等）
性と健康を考える女性専門家の会	すべて	Women's Health and Sexuality ニュースレターの発行 目的・内容＝会員に女性の健康、性の健康に関する情報、当会の活動、会員の活動を知らせる。 対象者及び対象者数＝会員 約500名 開催数（配布数）＝3回/年 効果＝催しに参加できない地方会員への情報伝達、会員の近況、書籍の紹介など女性の健康に関する多面的な情報収集ができる。		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
(社)日本女医会	30,31,32,33,37,39,41,45,47	ミニ講演会「21世紀の子どもために小児救急医療の整備と提言事業」 目的・内容＝母親の育児教育を推進することにより、地域の医療従事者、保育者、役所関係など大きなサークル活動として地域に貢献する 対象者及び対象者数＝母親、看護師、保育士等約50名 開催数(配布数)＝5回(埼玉県3回、北区1回、足立区1回) 効果＝家庭での救急対応方法の理解を得られ、時間外受診の軽減につながった。	30,31,32,33,37,39,41,45,47	ミニ講演会「21世紀の子どもために小児救急医療の整備と提言事業」 目的・内容＝母親の育児教育を推進することにより、地域の医療従事者、保育者、役所関係など大きなサークル活動として地域に貢献する 対象者及び対象者数＝ミニ講演会：母親、看護師、保育士等30～50名 開催(配布)予定数＝ミニ講演会：5回
特定非営利活動法人 日本小児循環器学会		学校心臓検診を継続的に行った。 効果＝突然死の予防に貢献した。		引き続き学校心臓検診を継続的に行う。
		川崎病の治療法の開発		引き続き川崎病の治療法の開発を行う。
全国母子保健推進員 等連絡協議会	17-19,22,24,28,45、50-55、	「平成20年度健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)」の後援 目的・内容＝目的：健やか親子21の推進、母子保健知識の普及啓発、地域母子保健事業の推進を図るための同大会に後援。 内容：功労者表彰(厚生労働大臣表彰、本会議表彰等)、特別講演「最近の母子保健を取り巻く状況と母推活動への期待」、シンポジウム「母子保健推進員等の活動の実際」等。 対象者及び対象者数＝保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等1500名 開催数(配布数)＝1回開催(福岡県) 効果＝講演、シンポジウムを通して家族の心の支えあい、安心・快適なお産等について考えるとともに、地域母子保健活動に功績のあった個人・団体を表彰、本人及び仲間に喜び、自信、意識の向上となった。	15,16、18,19、31-35,43,44、50-58,60-63,66	「全国母子保健推進員等連絡協議会活動報告会・意見交換会」の開催 目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつながることを目的とする。 内容：全国の母子保健推進員の活動報告 対象者及び対象者数＝厚生労働省母子保健課、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、関係団体代表等200名 開催(配布)予定数＝1回開催(静岡県)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	5,15,16、18,19、28-35,50-55,63、66	<p>「母子保健推進員研修会」の後援 目的・内容＝目的：母子保健推進会議と開催県が共催する同研修会に後援し、市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図ることを目的とする。 内容：虐待予防と支援、子どもの発達と親と子のかかわり、母子歯科保健、食育の推進、「生後4か月までの全戸訪問事業」、早産予防、授乳・離乳の支援、活動報告等 対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,540名 開催数(配布数)＝12回開催：山口県・佐賀県・富山県・長崎県・長野県・熊本県・鹿児島県・群馬県・福岡県・沖縄県・栃木県・豊田市 効果＝母子保健推進員の資質の向上と他市町村の母子保健推進員・保健師等の連携を深めることに寄与。当研修会で学んだこと、得た情報は、日々の活動に即、役立てられている。</p>	5,15,16、18,19、31-35、50-58,60-63,66	<p>「母子保健推進員研修会」「母子歯科保健研修会」への後援 目的・内容＝目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：虐待予防、子どもの生活リズム、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマに講演、シンポジウム、活動報告。併設して開催の乳幼児の発達と口腔ケア等をテーマの母子歯科保健研修会を後援 対象者及び対象者数＝母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名程度 開催(配布)予定数＝12回開催(佐賀県・山口県・長野県・富山県・長崎県・熊本県・群馬県・鹿児島県・静岡県・白井市・沖縄県・栃木県)</p>
	5,16、17-19、30-35,43,44、50-56,60-63,66	<p>「地域母子保健福祉情報紙—母推さん—」制作への協力 目的・内容＝目的：母子保健推進会議発行の同紙制作に協力、地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：厚生労働省、専門職、会員団体による情報提供、地域母子保健活動の実際、本会議主催研修会の報告など。 対象者及び対象者数＝都道府県・保健所・市町村・関係団体母子保健主管課へ毎月10,000部発行 開催数(配布数)＝12回(毎月1回1日発行) 効果＝行政、専門職からの情報、地域における母子保健活動の実際を広く掲載し、母子保健推進員等の学習、情報収集のツールとして日々の活動に役立てられている。</p>	5,16、17-19、30-35,43,44、50-56,60-63,66	<p>「地域母子保健福祉情報紙—母推さん—」制作への協力 目的・内容＝目的：母子保健推進会議が発行する同紙の制作に協力し、地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。 内容：厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声などを掲載。 対象者及び対象者数＝都道府県・保健所・市町村・関係団体等毎月10,000部発行 開催(配布)予定数＝12回(毎月1回1日発行)</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	7,9,10,15、17-19、28-32,43,44、50-55,61	海外からの視察団の受け入れ 目的・内容＝目的：地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の途上国への普及、ならびに母子保健推進員等の意識の高揚を図る。 内容：国際協力機構、(社)母子保健推進会議に協力し視察団を受け入れ、母推活動を紹介するとともに交流を図った。 対象者及び対象者数＝リプロヘルズ指導者セミナー：山口県、BCCセミナー：沖縄県、母推：和歌山県 開催数(配布数)＝3回 効果＝主に途上国の母子保健関係者に母推活動を紹介、母推が発足した国もある。日本の母推も日頃の活動を客観的に見直す機会となり意識の高揚に繋がった。	15,16、17-19、28-32,43,44、50-55,61	海外からの視察団の受け入れ・交流 目的・内容＝目的：日本の地域母子保健活動、及び母子保健推進員活動の経験を途上国へ伝え、対象国の母子保健水準の向上に寄与するとともに、日本の母子保健推進員等が日頃の活動を客観的に見詰め直し、意識の高揚につなげる。 内容：国際協力機構、(社)母子保健推進会議に協力し視察団を受け入れ、母子保健事業ならびに母子保健推進員活動の実際を紹介すると同時に、視察団と各県母子保健推進員等との交流を図る。 対象者及び対象者数＝中米からの視察団等 開催(配布)予定数＝6月、7月ほか
財団法人 母子健康協会		小児医学研究助成 目的・内容＝趣旨 小児医学研究分野における研究を推進し、小児医学の進歩に寄与することを目的とする。 助成月日 平成20年10月31日 研究期間 平成20年11月～平成21年10月 対象課題 小児医学に関連する研究で小児の増進、疾病の予防と治療に役立ち得るものとする。 対象者 大学、研究所、病院に所属する小児医学分野の研究に従事する50歳未満の研究者とする。 対象者及び対象者数＝件数11件、総額1380万円 開催数(配布数)＝毎年1回募集 効果＝今回は応募総数68件(対象機関110カ所)で質の高いテーマが選ばれた。研究成果が期待できる。		小児医学研究助成 目的・内容＝趣旨 小児医学研究分野における研究を推進し、小児医学の進歩に寄与することを目的とする。 募集月日 平成21年5、6月 対象課題 小児医学に関連する研究で小児の増進、疾病の予防と治療に役立ち得るものとする。 対象者 大学、研究所、病院に所属する小児医学分野の研究に従事する50歳未満の研究者とする。 対象者及び対象者数＝件数12件前後。総額1300万円
		小児医学研究助成報告書の発行 目的・内容＝趣旨 助成した小児医学研究の成果を小冊子にまとめ情報提供を行う。 平成18年度第19回医学研究報告書(平成20年6月1日発刊、部数300部) 対象者及び対象者数＝全国の主要な大学研究機関110カ所に贈呈 効果＝研究成果情報の共有化が図れる		小児医学研究助成報告書の発行 目的・内容＝趣旨 助成した小児医学研究の成果を小冊子にまとめ情報提供を行う。 平成19年度第20回医学研究報告書(平成21年6月発刊、部数 300部)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
		<p>シンポジウム「親と一緒に子育てを」開催 目的・内容＝趣旨 保育園・幼稚園の先生への啓蒙として保育園・幼稚園の先生方を対象したシンポジウムを開催し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。シンポジウム内容は、機関誌「ふたば」。ホームページに収録し、広く情報提供する。 開催日時 平成21年1月29日(木)14時～17時、会場 アルカデア市ヶ谷(東京都千代田区) 講師 前川喜平(東京慈恵会医科大学名誉教授)、小林正稔(神奈川県立保健福祉大学准教授)、山田雅井(私塾まきば代表) 対象者及び対象者数＝受講者数117名(都内保育園・幼稚園の先生) 開催数(配布数)＝年1回東京地区 効果＝参加者の殆どが有意義なシンポジウムであったとアンケートで答えており、それを裏付けるように活発な質疑応答があった。ホームページに詳細内容を掲載しており、全国の保育関係者でも活用が期待できる。</p>		<p>シンポジウム開催 目的・内容＝趣旨 保育園・幼稚園の先生への啓蒙として保育園・幼稚園の先生方を対象したシンポジウムを開催し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。シンポジウム内容は、機関誌「ふたば」に収録し、広く情報提供する。(開催日時 平成22年1月、会場 東京都内)*シンポジウムの詳細内容を機関誌・ホームページで紹介 対象者及び対象者数＝(都内保育園・幼稚園の先生) 開催(配布)予定数＝年1回東京地区</p>
		<p>機関誌「ふたば」発行 目的・内容＝趣旨 保育園・幼稚園の先生方を対象した機関誌「ふたば」を発行し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。 発行月日 平成20年11月1日、発行部数 32,000部、内容 B6版94頁、「座談会 子どもの食育」「子どもの発達」「季節と子どもの病氣」等 対象者及び対象者数＝全国の主要な保育園・幼稚園 30,000ヶ所に贈呈 効果＝小冊子であるが、内容が充実していて教科書代りに活用して頂いている。本年よりホームページに全文を掲載しており、全国の保育関係者の活用が期待できる。</p>		

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
日本SIDS学会	31	第15回学術集会開催 目的・内容＝SIDSの予防、病態究明 対象者及び対象者数＝医療（小児科、救急、病理、法医学など）・保健関係者 開催数（配布数）＝1回（千葉県）参加者約150名 効果＝より学際的にSIDSの病態究明に取り組むことができた。	31	第16回学術集会の開催 目的・内容＝SIDS研究の推進、SIDS予防の普及 対象者及び対象者数＝会員および医療・保健従事者 開催（配布）予定数＝1回
	31	厚生労働省SIDS研究班作成のSIDS診断チャート・死亡状況問診表の学会誌への再掲 目的・内容＝SIDS診断の正しい流れの普及 対象者及び対象者数＝全会員 開催数（配布数）＝配付数 約250 効果＝SIDS診断の流れや死亡状況調査の重要性が、医療機関の救急現場などでより明確となった。	31	症例検討委員会 目的・内容＝SIDSの発生機序、病態の解明 対象者及び対象者数＝本会委員メンバー 開催（配布）予定数＝2回
			31	リーフレット名称「日本法医学学会会員各位 日本SIDS学会 症例検討委員会からのお知らせ」 目的・内容＝日本法医学会の会員に、SIDS症例の提供を呼びかけ。 対象者及び対象者数＝第93次日本法医学会学術全国集会におけるシンポジウム参加者、約200名。 開催（配布）予定数＝200枚
日本未熟児新生児学会	22、30	日本未熟児新生児学会学術集会 目的・内容＝新生児医療の向上、新生児死亡の防止 対象者及び対象者数＝全会員（約3000名） 開催数（配布数）＝2008年10月30日（木）～11月1日（土）開催	22、30	日本未熟児新生児学会学術集会 目的・内容＝新生児医療の向上、新生児死亡の防止 対象者及び対象者数＝全会員（3,000名） 開催（配布）予定数＝11月29日～12月1日に開催予定
	47	教育セミナー 目的・内容＝新生児医療に携わる若手医師達の能力向上を図る。また中堅医師達の指導者としての役割を果たす能力をつける。 対象者及び対象者数＝毎年講師約20名、参加者50名。 開催数（配布数）＝平成20年8月21日～23日 効果＝若手医師からは全国に仲間ができ、絆が深まったとの声が多い。	47	教育セミナー 目的・内容＝新生児医療に携わる若手医師達の能力向上を図る。また中堅医師達の指導者としての役割を果たす能力を付ける。 対象者及び対象者数＝毎年講師約20名、参加者50名 開催（配布）予定数＝8月20日～22日に開催予定。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	20年度の取り組みテーマ	20年度の取り組み実績	21年度の取り組みテーマ	21年度の取り組み行動計画
	47	AJフェローシップ 目的・内容＝若手新生児科医育成のため、卒後3～6年目の医師を対象に学術集会・懇親会・実技セミナーの参加費用を免除とした 対象者及び対象者数＝全会員に告知、25名が対象となった 開催数（配布数）＝2008年10月30日～11月1日 効果＝若手新生児科医の育成	47	AJフェローシップ 目的・内容＝若手新生児科医育成のため、卒後3～6年目の医師を対象に学術集会・懇親会・実技セミナーの参加費用を免除とする 対象者及び対象者数＝全会員に告知、11名が対象となった 開催（配布）予定数＝11月29日～12月1日
全国乳児福祉協議会	31,33,42	「乳児保育」「全乳協ニュース」などの広報媒体 目的・内容＝乳幼児の事故予防についての広報啓発 対象者及び対象者数＝全国の乳児院のほか関係機関・個人のべ370か所2千人 開催数（配布数）＝発行計15回のべ370か所2千人 効果＝乳幼児の生命の安全確保について、個別ケアやセーフティマネジメント体制の再確認と、より深い認識の涵養が図られた	31,32,33,42	「乳児保育」「全乳協ニュース」などの広報媒体 目的・内容＝乳幼児の事故予防についての広報啓発 対象者及び対象者数＝全国の乳児院のほか関係機関・個人のべ370か所2千人 開催（配布）予定数＝2回以上
全国保育協議会	43、44	『保育所における感染症の知識と対応』 目的・内容＝保育所で必要とされる感染症の知識と対応について分かりやすくまとめと冊子として作成・頒布した。 対象者及び対象者数＝会員保育所、市町村行政等 開催数（配布数）＝4000部作成 効果＝保育所における感染症の知識とその対応について普及でき、保育所の衛生管理の質の向上につながった。	43、44、46、51	平成21年度保育所保健・衛生専門研修会 目的・内容＝保育所や乳児院での保健・衛生を中心とした取り組みについての知識等を学ぶ 対象者及び対象者数＝保育所の保育士、看護師、嘱託医、施設長、その他保育関係者および乳児院の関係者 開催（配布）予定数＝1回
	43、44、46、51	平成20年度保育所保健・衛生専門研修会 目的・内容＝保育所や乳児院での保健・衛生を中心とした取り組みについての知識を学ぶとともに、家庭や関係機関との連携等の取り組みについて学ぶ。 対象者及び対象者数＝保育所の保育士、看護師、嘱託医、施設長、その他保育関係者および乳児院の関係者 529名 開催数（配布数）＝1回 効果＝子どもたちが健康で安全な生活をおくれるようにするため、感染症や発達障害の知識とその対応、乳幼児の食事と食育の取り組みについて学ぶことができた。	43、44	冊子『保育所における感染症の知識と対応』の改定・普及 目的・内容＝感染症の知識とその対策について、保育所関係者に対し幅広く普及する 対象者及び対象者数＝保育所関係者、一般 開催（配布）予定数＝1回